



令和4年度は、コロナ禍の中ではありましたが、留学生別科は対面での授業を再開することができ、奨学生15名は無事に留学生別科の全ての課程を修了し、学部に進学いたしました。

ASEAN奨学生交流会、企業見学会は、昨年に続き残念ながら中止となりましたが、「ジャパン・スタディーズI」のインターンシップを実施し、留学生別科の卒業式は対面で挙行することができました。

本報告書では、令和4年度の事業内容、奨学生採用状況等をご報告するとともに、令和5年3月に卒業した第3期生からのメッセージを掲載いたします。

1. 奨学生募集活動・選考試験／その他

①対象国：インドネシア／カンボジア／タイ／ベトナム／フィリピン
マレーシア／ミャンマー／ラオス

②募集活動・選考試験

第1期（3月募集）出願期間：2022年3月1日（火）～15日（火）

最終合格発表：2022年4月29日（金）

合格者数：6名（ベトナム4名／ミャンマー2名）

第2期（10月募集）出願期間：2022年9月30日（金）～10月14日（金）

最終合格発表：2022年12月5日（月）

合格者数：10名（カンボジア1名／タイ2名／マレーシア2名／ベトナム4名
ミャンマー1名）

**合格者合計：16名（カンボジア1名／タイ2名／マレーシア2名／ベトナム8名
ミャンマー3名）**

2. 「ジャパン・スタディーズI」夏期インターンシップ

ASEAN奨学生が受講するキャリア教育科目「ジャパン・スタディーズI」で、東急株式会社、東急ホテルズ&リゾート株式会社の協力を得て、夏期休暇中にオンラインによるインターンシップ実習を実施いたしました。

留学生は2つのグループに分かれ、企業の指導担当者から出された課題について、企画提案を5日間でまとめる業務に挑戦しました。11月24日には対面で成果報告会を行い、各指導担当者からグループ毎に講評を受けました。

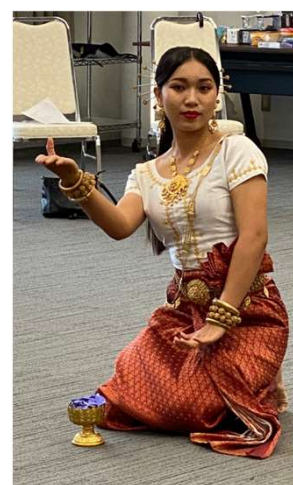


3. 奨学生の課外活動参加（一例）

①国際交流パーティー

日付：令和4年6月18日（土）

内容：奨学生を含む本学の留学生が、出身国のブースを設置し、国を代表する食品、楽器、民族衣装などを展示し、民族舞踊の実演も交えながら来場者に自国の文化を紹介しました。



②国際交流ハイキング

日付：令和4年8月2日（火）

内容：留学生と日本人学生と一緒に高尾山に登り、親睦を深めました。





③留学生日本語弁論大会

日付：令和4年12月8日（木）

内容：『日本と私の「ご縁」』というテーマで、留学生がそれぞれ、日本に興味を持ったきっかけや、日本との「縁」についてスピーチしました。



4. 留学生別科卒業式

日付：令和5年3月15日（火）

形式：対面

ASEAN奨学生卒業生数：15名

式次第 留学生別科科长 餞の辞
卒業証書授与 褒章授与
担任祝辞 卒業生挨拶



5. 卒業生懇談会

日付：令和5年3月15日（火）



5. 年度別奨学生採用実績

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	合計
別科	3	9	12	14	休校により合格保留	17	15	15	85
ベトナム	1	7	7	7		9	6	8	45
タイ	2	2	1	4		3	5	2	19
マレーシア	0	0	1	0		2	0	1	4
インドネシア	0	0	2	2		2	0	0	6
フィリピン	0	0	1	1		0	1	0	3
カンボジア	0	0	0	0		1	2	1	4
ミャンマー	0	0	0			0	1	3	4
学部	0	0	1	1	1	1	0	1	5
ベトナム	0	0	1	1	0	0	0	0	2
マレーシア	0	0	0	0	1	1	0	1	3
合計	3	9	13	15	1	18	15	16	90

6. 国籍別・学部別在籍奨学生人数表（令和5年4月1日現在）

		経営学部 経営学科				国際関係学部 国際関係学科				国際関係学部 多文化コミュニケーション学科				都市創造学部 都市創造学科				留学生 別科	合計
		1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年		
ベトナム	総数	3	5		2	2	3		4	1			1		1			8	30
	(女)	(2)	(5)		(1)	(1)	(3)		(3)	(1)			(1)		(1)			(6)	(24)
タイ	総数		2			1			1	3	1		2	1				2	13
	(女)		(2)			(1)			(1)	(2)	(1)		(2)					(2)	(11)
インドネシア	総数		1				1						1						3
	(女)						(1)						(1)						(2)
フィリピン	総数								1				1						2
	(女)												(1)						(1)
マレーシア	総数		1								1	1		1				1	5
	(女)		(1)									(1)						(1)	(3)
カンボジア	総数					2								1				1	4
	(女)					(2)													(2)
ミャンマー	総数					1												3	4
	(女)					(1)												(2)	(3)
合計	総数	3	9		2	6	4		5	4	2	1	4	2	2			15	61
	(女)	(2)	(8)		(1)	(5)	(4)		(4)	(3)	(1)	(1)	(4)	0	(1)			(11)	(46)

奨学生卒業後の進路

◆第1期生:令和3(2021)年3月卒業 H29(2016)年度学部入学

No.	国籍	性別	進路先	事業内容	卒業学部学科
1	ベトナム	女	ホガス株式会社	映像制作	国際関係学部 多文化コミュニケーション学科
2	タイ	女	株式会社共立メンテナンス	学生寮事業、ホテル事業等 不動産賃貸業(賃貸・管理)	国際関係学部 国際関係学科

◆第2期生:令和4(2022)年3月卒業 H30(2017)年度学部入学

No.	国籍	性別	内定先	事業内容	卒業学部学科
1	ベトナム	女	フォスター電機株式会社	メーカー:情報通信機械器具	経営学部 経営学科
2	ベトナム	女	ナナーズ株式会社	流通:飲食料品・食品スーパー	経営学部 経営学科
3	ベトナム	女	株式会社トーコン	輸送:倉庫・運輸附帯サービス	経営学部 経営学科
4	ベトナム	女	公益財団法人 国際人材育成機構	商社:機械器具・OA製品	国際関係学部 国際関係学科
5	ベトナム	女	卒業・母国で就職活動		国際関係学部 多文化コミュニケーション学科
6	ベトナム	女	株式会社ブライセン	情報通信: ソフトウェア・情報処理・情報サービス	国際関係学部 国際関係学科
7	ベトナム	女	ニッセイ情報テクノロジー 株式会社	情報通信: ソフトウェア・情報処理・情報サービス	経営学部 経営学科
8	ベトナム	女	ニッセイ情報テクノロジー 株式会社	情報通信: ソフトウェア・情報処理・情報サービス	国際関係学部 国際関係学科
9	タイ	男	株式会社デジタルハーツ	情報通信: ソフトウェア・情報処理・情報サービス	都市創造学部 都市創造学科

◆第3期生:令和5(2023)年3月卒業 (H31(2018)年度学部入学)

No.	国籍	性別	内定先	事業内容	卒業学部学科
1	ベトナム	女	FPTジャパンホールディングス	情報通信:ソフトウェア・情報処理・情報サービス	経営学部 経営学科
2	ベトナム	女	三谷産業株式会社	商社:総合	経営学部 経営学科
3	ベトナム	女	フォスター電機株式会社	メーカー:情報通信機械器具	経営学部 経営学科
4	ベトナム	女	インバウンドテクノロジー 株式会社	サービス	国際関係学部 国際関係学科
5	ベトナム	男	株式会社東京アクティ	輸送:陸上	都市創造学部 都市創造学科
6	ベトナム	男	オーストラリアで大学院進学 (ビジネス系)		経営学部 経営学科
7	ベトナム	男	オーストラリアで大学院進学 (デザイン系)		都市創造学部 都市創造学科
8	ベトナム	女	オーストラリアで大学院進学 (ビジネス系)		都市創造学部 都市創造学科
9	マレーシア	男	株式会社ユニヴァ・ジャパン	商社:総合	都市創造学部 都市創造学科
10	フィリピン	女	株式会社ディッジ	サービス	国際関係学部 多文化コミュニケーション学科
11	インドネシア	女	共同組合東京人材開発センター	サービス	国際関係学部 多文化コミュニケーション学科
12	インドネシア	女	卒業・母国で就職活動		都市創造学部 都市創造学科
13	タイ	女	卒業・母国で就職活動		都市創造学部 都市創造学科

経営学部経営学科4年のチェックです。ベトナムから来ました。

留学生別科で入学して、その後経営に関する勉強をしていました。1年生から専門的な知識を少しずつ、企業分析、ビジネスマナーなどを学ぶチャンスがあつて、ビジネス世界の動き方をある程度把握できたので、就職活動に本当に役に立ちました。また、亜細亜大学だからこそ日本人の友達だけでなく、いろいろな国の友達もできました。振り返れば、いつも先生方々の支援をいただきながら、友達に囲まれていたので、大学生活最初から最後まで全然困りませんでした。

学部の勉強だけでなく、学外のアルバイト、インターンシップなどをいろいろ挑戦して学びました。日本に来て一番学ぶことができたこと、日本人に囲まれる環境に自分なりに徹底したいことは礼儀挨拶の徹底です。これは就活の面接に答えられなかったもので、この機会にあたり、言ってみたくと思います。

毎日忙しいけれど、自立ができる、私はこの日本生活が好きです。亜細亜大学のASEAN奨学金を頂かないと留学することができません。今日の私はいません。5年間本当にお世話になりました。社会人になってもこの5年間を忘れません。誠にありがとうございました。

ASEAN奨学生第3期生

グエン ヴォ タイン チュック [経営学部卒]

就職先：FPTジャパンホールディングス

(情報通信：ソフトウェア・情報処理・情報サービス)

出身校：レ クイ ドン高校 (ベトナム)



この度は、亜細亜大学ASEAN諸国留学生奨学金に採用して頂き、5年間の手厚いご支援を頂きまして、誠にありがとうございます。ASEAN奨学金のお陰で、今まで様々な知識や経験が得ることができました。

亜細亜大学の留学生別科に入学することを始め、日本語能力を深く磨くことができ、多国籍の友達もできました。そして、亜細亜大学に4年間経営学部で学ぶことが出来、専門知識だけでなく、幅広い分野も振られて、視野が広がっていくことが感じました。学校で勉強しながら、アルバイトの経験を積み重ねて、友達と楽しく、有意義な大学生活を送ることができました。今まで学んだ知識や経験を活かして、これから社会人として精進していきます。

5年間支えているASEAN奨学金をいただき、改めて感謝いたします。

ASEAN奨学生第3期生

チャン ミエン ヒエン [経営学部卒]

就職先：三谷産業株式会社 (商社：総合)

出身校：ハノイ師範大学師範高校 (ベトナム)



この度、亜細亜大学を卒業することができ、本当に喜びます。

私が日本に留学し、亜細亜大学に入学したことは、人生において貴重な経験となりました。

日本は、世界に誇る先進国であり、その先進性を支える文化や技術、ビジネスの在り方など、多岐にわたる分野で学ぶことができました。

私は経営学部で学び、授業やサークル活動を通じて、日本企業のビジネスモデルや人材育成、グローバルマインドの重要性など、多くの知識やスキルを身につけました。

亜細亜大学に入り、学びの場を提供してくださったことに加え、素晴らしい環境で学ぶことができたことです。授業においては、優秀な教授陣による質の高い指導を受け、研究においては、最新の技術や設備を利用することができました。

留学生別科で学んだ日本語の基礎力は、私の日本での生活や学業を支える大きな力となりました。

また、授業や留学生向けのイベントを通じて、様々な学生と交流し、大学生活を充実させることができました。それに、日本の美しい自然や食文化に触れることができました。

私たち留学生を支援していただき、心から感謝申し上げます。出資によって、私たちはせ成長できる環境で学ぶことが作られ、将来的には日本と自国をつなぐ橋渡し役として貢献できるようになります。

ASEAN奨学生第3期生

ヴ ホアン ラム〔経営学部卒〕

就職先：オーストラリアで大学院進学

出身校：マリー キュリー高校（ベトナム）



この度は、ASEAN奨学金ご支援いただきまして、誠に感謝しております。

私は、中学生の時から日本の文化に引かれて留学することが夢でした。子供の時の自分にとって、留学することははるかな夢で、叶える余裕がなかったです。しかし、ASEAN奨学金のおかげで留学する夢を実現することができました。

亜細亜大学で5年間通学するおかげで、多くの国の友達に出会えることができ、視野を広げることができると感じております。留学生別科と学部はもちろん、たくさんの新たなことに出会わせてくださいました。5年間日本に生活することで社会の一員として、どう振る舞うべきか、問題に対してどう向き合うべきかなどを身につけることができる感じております。これから大学を卒業し、社会人になりますが、5年間亜細亜大学のASEAN奨学金が与えてくださった経験と思い出は私の一生の誇りです。

ASEAN奨学生第3期生

ファルハ アズリア ルブナ〔国際関係学部卒〕

就職先：共同組合東京人材開発センター（サービス：その他）

出身校：バンドン第14国立高校（インドネシア）



この度は、ASEAN奨学生に採用していただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、この留学5年間は無事に大学に通うことができました。私の家庭は母子家庭となり経済的に困窮するため、毎日一生懸命働いてくれている母にできるだけ負担をかけないようにと考えています。この奨学金は学費に使わせて頂きました。奨学生に採用されたことで、学習に対する意識も高まり、どんな大変であっても前向きな気持ちで取り組んでいます。

奨学金をご支援いただいたことで、精神的な余裕もでき、卒業論文の研究に全力を注ぐことができています。それに、就職活動においても無事に内定をいただくことができました。皆様からの温かいご支援がなければ、私が今ここに立つことはできませんでした。本当にありがとうございました。

このような5年間留学経験を忘れず、社会においても生かしていきたいと思います。理事長、学長およびお世話になった亜細亜大学の役員の方々からいただいたご支援に報いるため、社会に貢献できる人材を目指し、常に精進してまいります。最後になりましたが、ASEAN奨学生に採用していただき、重ねてお礼申し上げます。ご支援いただいているすべての方々に心から感謝いたします。

ASEAN奨学生第3期生

グエン ティ ジェウ リン [国際関係学部卒]

就職先：クックビズ株式会社（サービス：その他）

出身校：メ リン高校（ベトナム）



自分は高校生の頃から日本での留学を目指しました。しかし、高校3年生の時に、両親から経済面の困難があり日本留学が不可能と言われて、夢を諦めました。その時に、亜細亜大学のASEAN奨学金がマレーシア人に初めて応募を始めると知り、もう一度頑張りたいと思い、奨学金を応募しました。5年後の今日ではASEAN奨学金のお陰で、様々な企業とのインターンシップや見学ができ、多くの貴重な知識を学ぶことができました。

この5年間の中で一番勉強になったのは柔軟性とのことです。自分の2年生と3年生の期間で新型コロナウイルスの影響もあり、2年間オンライン授業となりました。そこで、オンラインでも決して勉強の油断をせず、対面の時よりも積極的に先生とのフォローアップをしました。それに、友達に会えない中でより頻繁的にオンラインでのコミュニケーションを取りました。そのお陰で、オンラインで過ごしたこの2年間もとても有意義に過ごしました。

この亜細亜大学での5年間に、自分が選んだ都市創造学部の知識以外にも、専門ゼミで習ったスキルや仲間達もとても良くできました。短い間ではありましたが、この貴重な機会を与えていただいた理事長達にとっても感謝しております。ASEAN諸国留学生奨学金の受給者として採用していただき、重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。

ASEAN奨学生第3期生

スー カイ ジング [都市創造学部卒]

就職先：株式会社ユニヴァ・ジャパン（商社：総合）

出身校：中華独立高校（マレーシア）



私は昔からアニメと声優が好きでした。私が通っていたフィリピンの高校の先生が亜細亜大学と繋がりがありASEAN奨学金を紹介してくださいました。日本に憧れていた高校生の私は、この奨学金を獲得し、日本留学を叶えようと受験に挑みました。

亜細亜大学に入ってから5年が経ちました。

5年前は「本当に5年間続けられるの?」、「本当に卒業できるの?」という悩みと不安でいっぱいでした。別科に入って一番思い出になったのは、漢字の課題と過ごした夏休みです。私は漢字がとてとても苦手だったので、皆さんがあっちこっち旅行して良い夏休みを過ごしている間に、私は1冊の漢字の課題に取り組んでいました。

大学1年生になると、色々な授業を日本人の学生と一緒に受けるようになり、空きコマで交流してお互い知らない単語(英語と日本語)を教え合って、友達も沢山作れた最高の大学生活でした。しかし、2年目に入ってコロナの影響で楽しい大学生活が無くなりました。

この大学生活は決して簡単な旅ではありませんでした。嬉しいことも悲しいこともあって、悔しい時や苦しい時も毎日踏ん張って過ごしてきました。しかしこれらの経験が私を強くしてくれました。そして、亜細亜大学様が私にASEAN奨学金を与えてくださったことには心の底から感謝しています。これがなければきっとこういう出会いや経験はなかったことなのでしょう。この5年間はジェットコースターのような日々でした。

ASEAN奨学生第3期生

ガトドゥラ ダニエラ イザベル ブラザ [国際関係学部卒]

就職先: 株式会社ディッジ (サービス: その他)

出身校: フィリピン日系人国際校 (フィリピン)



このたび奨学金のご支援をいただきまして、誠に感謝しております。この奨学金のおかげで夢のまた夢だった日本に留学することができました。貴重な留学を通して今の私があると思います。この五年間を通して様々な経験を得ることができました。日本語力が上達しました。こうして、話せるのはこの留学のおかげです。ただのアニメ好きの私でしたが、亜細亜大学に入学し、都市創造学部に入部したことで日本の街づくりを勉強することができました。これからも得た知識を活かして、より良い世の中にしたいと思います。

奨学金を支援してくださった方々、学部の先生やインターナショナルセンターの職員の方々、お互いに支え合う留学生の友達のおかげでここまでたどり着きました。誠にありがとうございました。

ASEAN奨学生第3期生

ベニン アングライニ [都市創造学部卒]

就職先: 母国で就職活動

出身校: クブメン第1高校 (インドネシア)



5年間の間、亜細亜大学ASEAN諸国奨学生として大変お世話になりました。私は、子供の頃から日本のアニメに興味を持ち、日本語を勉強始めました。勉強すれば、勉強するほどますます日本への関心が高まりました。亜細亜大学ASEAN諸国奨学金のお陰で、日本に留学することができ、心から感謝申し上げます。授業中には日本語や日本文化はもちろん、都市創造学部の専門知識などにも学ぶことができました。また、授業以外にも見学やインターンシップ、アルバイトなど、日本でしか経験できないことも多数経験できました。本当に留学して良かったと思います。この度、日本に留学機会を与えて頂いた出資企業、生活や様々なことを支援して頂いた国際ナショナルセンターの先生たち、日本語や学部の先生たち、応援して頂いた家族と友達、誠にありがとうございました。

ASEAN奨学生第3期生

ガンヤヌーワット スターシニー〔都市創造学部卒〕

就職先：母国で就職活動

出身校：スアンプラーク ウィッターヤライ ランシット高校（タイ）



亜細亜大学のASEAN諸国奨学金を受け、日本への留学の夢が叶いました。それは私にとって大きな人生の転機のひとつだと思います。19歳の時、ベトナムの中部にあるフエという小さな町から大都市である東京で一人暮らしが始まりました。初日から空港で暖かくお迎えしたり、学生寮の小さな家具までご用意したり、日本での生活上の注意など丁寧に教えたりして下さる先生達に本当に感謝しています。第二の家族のような大切な存在でした。

多様性を大事にしている亜細亜大学で色々な国からの学生と友達になり、異文化理解力を身に付けました。他人と考え方がすれ違いは生じる時に、なんでその違いがあるのか、相手はどういった背景でその考え方を持つのかという根本的な原因を探そうと思う姿勢でいるようになりました。将来的にその能力を活かし、グローバル人材になることを目指しています。

私の日本への留学の夢が叶う機会を設けてくださった方々に心よりお礼を申し上げたいと思います。近年、大都市だけではなく、フエのような小さな町でも日本で留学する夢を抱いている学生さんが多くいると思います。奨学金の情報を発信しづらいところまで発信できるように自分の力でも頑張りたいと思います。ASEAN諸国各地の学生の夢が叶う機会をどうぞ引き続き与えて続けていただけますようお願いいたします。本当にありがとうございました。

ASEAN奨学生第3期生

ゴ チャン フオン リン〔経営学部卒〕

就職先：フォスター電機株式会社（メーカー：情報通信機械器具）

出身校：クオック ホック高校（ベトナム）



この度、亜細亜大学を卒業するにあたり、ご挨拶とお礼を申し上げます。5年間のASEAN奨学金のご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。

私は高校からベトナムの大学の2年間に日本語を勉強して、いつか日本で留学に行きたいことがずっと夢でした。日本で学んだことは数知れず、その中でも最も重要なことは、自立心と責任感です。これらのスキルを身につけることで、私は自分の人生を自分で切り開くことができるようになりました。亜細亜大学に留学して日本の大学生活を十分に味わえ、多様な国からの友達と交流することで、一緒に楽しい時間を過ごせたことが印象的です。特に、この5年間では充実した授業や研究環境に加え、アットホームなキャンパスライフを過ごせたのが良かったことです。また、亜細亜大学でインターンシップに参加したことで、自分の長短をみつけれられて、やりたいことが分かるようになりました。

最後に、出資企業の皆様には、私たち留学生を支援していただき、本当にありがとうございました。出資により、ASEAN生たちは優れた環境で学ぶことができました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

ASEAN奨学生第3期生

ゴー ティ ホアン チャン〔都市創造学部卒〕

就職先：オーストラリアで大学院進学

出身校：人文社会科学大学（ベトナム）



この度は、亜細亜大学のASEAN奨学金をいただき、5年間で大変お世話になり、心から感謝申し上げます。インターナショナルセンター、東急グループのお陰様で就職先が定まり、無事に大学を卒業しました。今度の4月から社会人として新たな人生を迎えますが、大学生時代のことを一切忘れられません。

私にとって日本に留学することは人生の夢でした。5年前の私と今の自分自身は非常に変わり、日本語能力のみならず、性格、考え方、進路などが成長しました。留学生別科に入学し、初級日本語から卒業論文まで先生のご指導とご応援を下さり、皆々の優しさを感じられました。それに多くの友達ができ、様々な仕事を体験し、充実した留学生生活を過ごしました。興味深い分野都市創造学部では貴重な知識を学び、今後役に立てる人間を目指しています。コロナ禍で大学に通えなくなり、非常に困難だった時期でしたが、皆と共に乗り越えました。最後になりました、ASEAN諸国留学生奨学金の受給者として、重ねてお礼申し上げます。ASEAN奨学金がなければ、自分の夢が叶えられませんでした。

ASEAN奨学生第3期生

フィン ティン ヤン〔都市創造学部卒〕

就職先：株式会社東京アクティ（輸送：陸上）

出身校：レ クイ ドン高校（ベトナム）



この度、亜細亜大学のASEAN奨学金の奨学生に選んでいただき、4年間お世話になり、誠にありがとうございます。大学1年からASEAN奨学金をいただき、経済的な負担から解放され、亜細亜大学での4年間の留学生生活をより快適で充実したものになりました。

私は日本語を実際に使い、日本の文化を学びたいと思い、亜細亜大学の別科に入りました。ここでは、世界各国の友達ができ、日本のことだけでなく、他国の言葉や文化を交換することもでき、予想以上に多くのことを学びました。その後、都市コンテンツ学部では、意外と建築だけでなく、CG技術やEコマースなど、さまざまな種類のクリエイティブアートに触れ、実践してきました。これによって、今後の仕事の方向性が明確になりました。

ここには全部書ききれないほど多くの経験と思い出をいただき、それらのことが私の将来への道をより豊かにできると考えています。最後になりましたが、日本に留学する機会を与我えくださった先生方、そしてASEAN奨学金にとっても感謝しています。この5年間は私の人生の中で常にとっても意味のある物になりました。

繰り返しにはなりますが、5年間学ぶ機会を与我え頂きありがとうございました。

ASEAN奨学生第3期生

ドー ヴィエット ゴック ティエン [都市創造学部卒]

就職先：ドイツで大学院進学

出身校：亜細亜大学留学生別科





発行 学校法人亜細亜学園
国際連携部インターナショナルセンター